

2019年9月24日

# 経営学入門 I d①

担当

安川文朗

# 担当講師自己紹介

所属：国際商学部/国際総合科学部・経営学コース

専門：医療経済学・経営学、医療政策、リスク学

本学での担当科目：医療経営論、危機管理論(英語)、経営学入門Ⅰ、Ⅱ

Public Management(公共経営論：英語)

Healthcare Management (大学院)

Risk Management (大学院)

主な研究課題：

- 1) 将来の優れた医療人材を確保するための制度設計と育成プログラムのあり方
- 2) 医療の成果を適切に測定する具体的方法の検討
- 3) アジア地域(特にラオス、中国)の医療制度や資源配置の課題の検討

1957年 大阪生まれ

1980年 関西学院大学卒業(社会学士)

1993年 京都大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)

2004年 京都大学経済学博士取得

慶応義塾大学、広島国際大学、同志社大学、熊本大学を経て2013年から市大勤務

# イントロダクション

## 経営学を企業の立場から俯瞰する

経営とは、

① **戦略** として規模を定め基礎を立てて物事を営むこと

② **オペレーション** を営むこと

③ **組織** 事業を経済的に成し遂げるために工夫した仕組

(広辞苑第5版)

Q: うえの3つの意味を3つの「キーワード」で表してみよう

## ◎企業の経営に必要なもの

Q: 企業経営に必要なもの(つまり先のキーワードに挙げたものを実現するために必要なもの)を「経営資源」というが、具体的な「経営資源」にはどのようなものがあるだろうか？

人 (人的資源)

モノ (土地・建物・機器)

カネ (金銭的資本)

情報 (システム・データ)

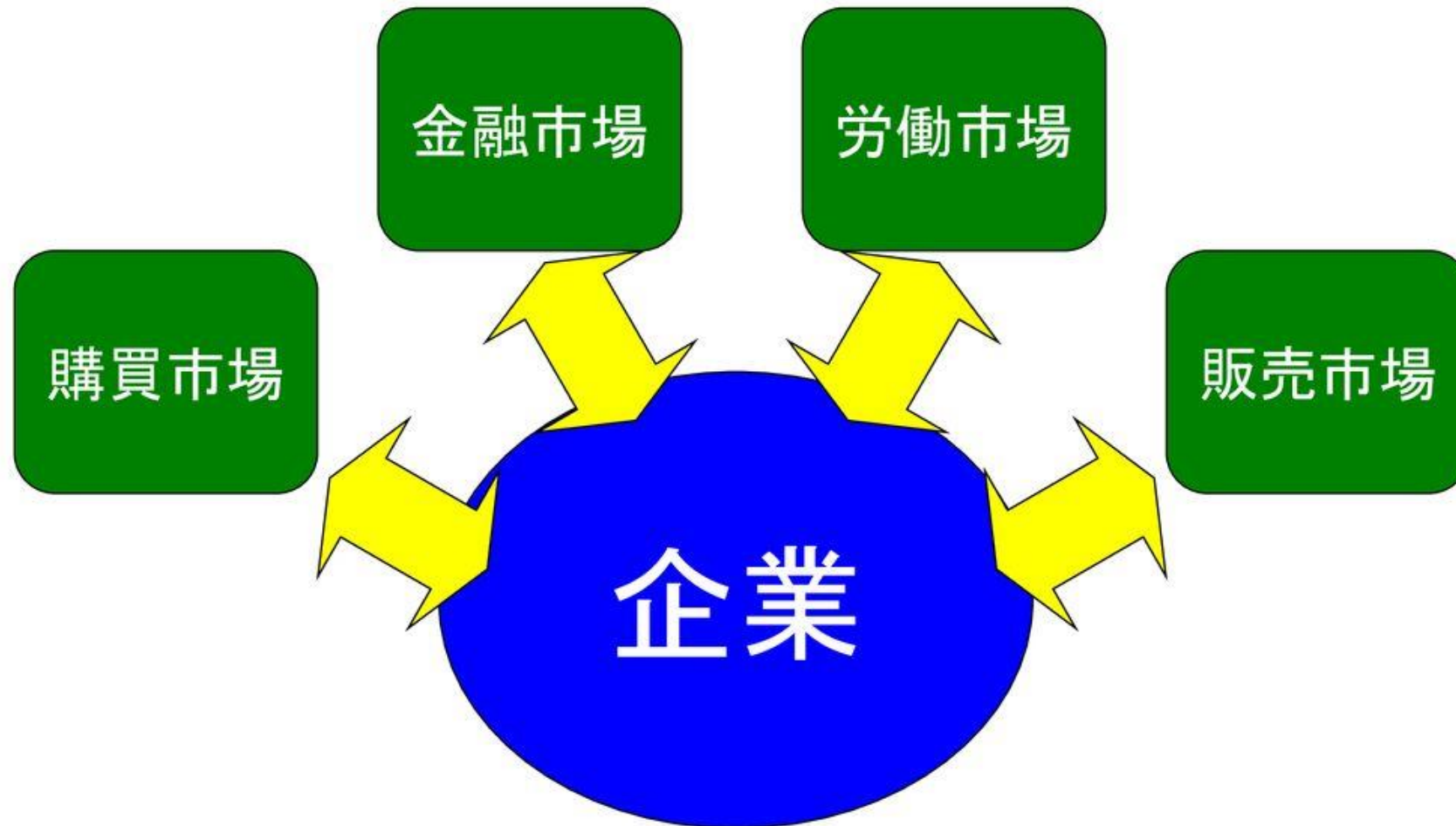
技術 (情報の操作、製品創造)

環境 (企業内・企業外 (=社会))

文化 (規範・人間関係)

# ◎企業と市場

市場と企業のかかわり



# ◎経営資源がそろっていれば経営はうまくいくのか？

それらの資源を効率よく調整する人や仕組が必要  
**コーディネーション**

人的資源の能力を引き出すための人事管理システム

機械の効果的な稼働を実現する設備配置とルール(カンバン方式など)

製品の製造から販売までの最も効率的なルートを決めるための仕組み(JIT、マルチチャネルなど)

企業組織の能力を発揮させ、インセンティブを高めるための組織形態  
(事業部制組織、職能制組織など)

# ◎わたしたちにとっての企業

## 経済的機能

企業で生産される財やサービスが、継続的に、かつ安価に提供されれば、我々の生活水準は向上し経済発展に寄与する

## 組織的機能

企業組織は、ある目的に向かった分業に基づく協業体制として存在し、そこで働く人々が能力や資質に応じて各々の役割を果たす

## 社会的機能

企業組織を通じて人間関係や人々の社会的立場が形成される

Q1: 経済的な効果を生む財やサービスを生産するのは企業だけの独占的機能か？

Q2: 企業組織のなかで分業的な役割を果たすとき、企業の目的や行動に疑問をもった従業員はどうふるまえばよいのか？

Q3: 企業にいてることで人間関係や自分の立場が形成されるなら、人々は企業を離れては何もできないことになるのか？



Q1 ⇒ 財やサービスは、営利的目的をもつ企業の経済性原理で提供することが最も望ましいのか？



企業が機能を発揮するためには、財・サービスを提供する「市場」と、市場における価値を表示する「価格」が機能している必要がある。しかし市場にも価格にも不確実性がある（需給状況に応じて変化する）ため、企業は一定のリスクを負って企業活動を行う



**それでもなぜ(営利的)企業が財やサービスの生産と提供の担い手として中心的な役割を果たしているのか？**

Q2 ⇒ 企業で働く人々は社会においてどのような役割を担っているのか？



企業が社会の中で一定のリスクを負い、同時に財やサービスを通じて社会と関わることにおける一定の責任を負うとすれば、その責任に疑義が生じた場合に誰がそれを修正し、社会に告知するのが重要な問題となる



**「企業の社会的責任」とは、具体的には誰がどのように負うべき責任なのだろうか？**

Q3: 人々は企業を離れては何もできないのか？

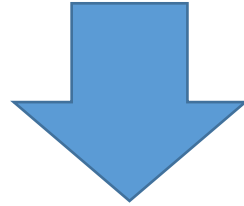


たしかに企業人は、企業に育てられ、企業のなかで職業人としての立場を獲得していく。しかし同時に、働く個人も企業も、ただ単に企業の言いなりになる人を欲しているのではない。企業へ貢献しつつ、自分自身の人生においても自己実現ができる人材を育成したいと考えている。



キャリア形成と企業への貢献とのバランスが、企業にとっても個人にとっても重要な関心事となっている！？

経営を企業の立場から見るのが中心となるが、同時に企業ではたらく人々の視点から見ることも、経営を理解するうえで重要なアプローチ



キャリア、雇用制度、それを活かす組織構造にも注意を向けよう

## 講義予定(シラバス記載)

第01週	イントロダクション
第02週	経営学の全体像
第03週	企業のマネジメント
第04週	株式会社のマネジメント
第05週	事業戦略のマネジメント
第06週	マネジメントの事例研究(1)
第07週	組織構造のマネジメント
第08週	モチベーションのマネジメント
第09週	キャリアのマネジメント
第10週	日本の雇用制度のマネジメント
第11週	マネジメントの事例研究(2)
第12週	国際化のマネジメント
第13週	授業のまとめ
第14週	期末試験
第15週	講評・質疑応答

# ◎講義資料の配布方法

本講義での資料は原則紙ベースでは配布しません。以下のURLにより**担当講師のHPにある「受講生へ」から、講義資料(パワーポイント)をダウンロード**してください。

講義4日前までには当該週の資料をアップロードします(ただし事情によりアップロードできない場合は、当日担当講師が配布します)。

<https://yasukawafumiaki.weebly.com/>

\* 担当講師名(安川文朗)で検索すると、最初に出てきます